



「美しい山と川を」みんなの気持ちはひとつ

自然を愛し区民が一斉清掃 第21回「山と川のクリーン作戦」

市と衣川区公衆衛生組合連合会（菅原賢一会長）が主催する「山と川のクリーン作戦」が4月26日、衣川区全域で実施されました。21回目となることは、1,100人が参加して大清掃。好天にも恵まれ、清掃を終えた参加者は、気持ちの良い表情を浮かべていました。

この日、回収されたごみの量はトラック5台、パッカー車2台分の2.5トン。「震災後は一時期ごみの量が増えたが、ここにきて着実に減ってきている」と菅原会長は活動の成果を語っていました。



昔ながらの米作りの様子が分かる展示など、見どころ満載の館内

郷土を愛する気モチ忘れず えさし郷土文化館開館15周年

えさし郷土文化館（相原康二館長）は4月14日、開館15周年を迎え、入館無料などの特別イベントを実施しました。

記念企画「Mochi Café」では、同館の餅つき体験学習で味わうことができる餅料理を無料で振る舞い。9種類の味が並び、あんこなど定番のほか、玉ねぎやわさびなどの変わり種も人気を集めました。餅つきの実演も行われるなど、館内は大勢の人でにぎわい、郷土料理を味わいながら古里への思いを馳せていました。



推定樹齢400年のエドヒガンに見守られながら餅つき

梁川の宝「種蒔桜」の前で エドヒガン「種蒔桜」さくらまつり

市天然記念物指定梁川のエドヒガン「種蒔桜」＝江刺区梁川＝の前で、獅子・はたるの舞う里梁川地域協議会（小澤祐耕会長）主催のさくらまつりが4月25日、26日、29日の3日間開催されました。

例年より開花は早かったものの、ことしも見事に咲き誇った種蒔桜。初日はその大木の前で餅つきが行われ、じゅうね餅とわさび餅が振る舞われました。小澤会長（68）は「大切な地域の宝を守り、市民みんなに愛される桜になってほしい」と語っていました。



前沢音頭でイベントを盛り上げる厄年連

こちら春の前沢の風物詩 お物見公園桜まつり

お物見公園桜まつり（前沢商工会青年部主催）が4月26日、同公園で開催されました。

ことしは桜前線の通過が早く、また、野鳥被害により例年の3割以下の開花でしたが、好天に誘われ多くの家族連れが来場しました。

会場ではパフォーマンス大会などたくさんのイベントが行われ、オープニングでは、奥州前沢42歳、25歳の両厄年連が、創作演舞のほか合同での前沢音頭を披露。祭りに花を添えました。

愛するふるさとを舞で表現 いわて奥州「結」お披露目キャラバン



北上川の雄大な流れを思わせるオリジナル演舞

奥州・金ヶ崎8つのYOSAKOIチームが集まり結成した、いわて奥州「結」（佐藤英俊代表）のお披露目キャラバンが4月12日、みずさわ観光物産センター（Zプラザアテルイ）など5カ所を会場に行われました。

朝から澄んだ青空が広がり、近隣住民や買い物客、YOSAKOIファンなど大勢が詰め掛けて各会場は大盛況。北上川とふるさとの大地、稲穂をイメージした衣装に身を包んだ舞い手が、オリジナル演舞「絆跡」を披露すると、観客から大きな歓声と拍手が湧き起りました。

同チームは、ことし6月に札幌市で開かれる「YOSAKOIソーラン祭り」に挑む予定。「岩手の魂を伝えに北海道に行ってきます」と、観客に活躍を誓いました。

焼石連峰に目覚めの時来る 国道397号の除雪状況を公開

胆沢区若柳の国道397号で4月24日、県南広域振興局の除雪作業が公開されました。

4月2日の作業開始以来、この日までに約17kmの除雪を終え、秋田県境まで残り3kmに迫りました。積雪は3～4mと去年より少ないものの、水分が多く硬い雪で、除雪には時間が掛かります。雪崩の恐れもあるため、ことしも例年並みの5月中旬に開通を予定しています。除雪車の作業音が高らかに響き渡り、焼石の峰々に春の訪れを告げていました。



好天の下、豪快に雪を舞い上げる除雪車

自由な発想で未来を作れ！ 市少年少女発明クラブ開講

ことしから名称を新たにした「奥州市少年少女発明クラブ（佐藤剛会長）」の開講式が4月11日、水沢南地区センターで開催されました。3月に30周年の節目を迎えたばかりの同クラブ。市内の小学1～6年生47人が31期生として入会しました。

会員を代表し、小野賢悟君（岩谷堂小6年）が「ことしは小学生最後の年。いろいろな方向から物事を考えて、さまざまなことにチャレンジしたい」と入会の決意を述べました。



開講式後の公開発明教室で、真剣な眼差しで作品づくりに取り組む会員